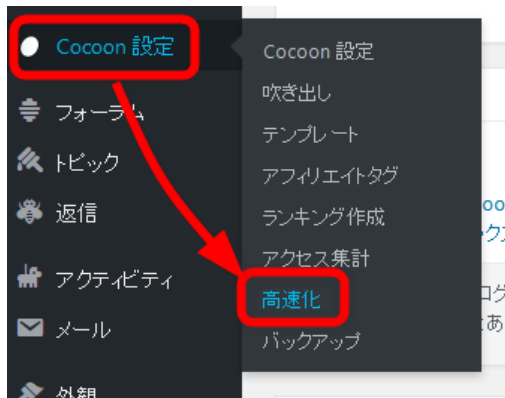


WordPress 管理画面から「Cocoon 設定→高速化」メニューを選択してください。



「サイト高速化」設定画面で、以下の項目にチェックを入れて設定を保存してください。

サイト高速化

サイト表示スピードの高速化設定を行います。 [解説ページ](#)

ブラウザキャッシュ

ブラウザキャッシュを設定します。ブラウザキャッシュを設定することで、次回からサーバーではなくローカルのリソースファイルが読み込まれることになるので高速化が図れます。

☒ ブラウザキャッシュの有効化

ブラウザキャッシュを有効化することで、訪問者が2回目以降リソースファイルをサーバーから読み込む時間を軽減できます。

縮小化

HTML、CSS、JavaScriptの縮小化を行うことにより転送サイズを減らし高速化を図ります。AMPページも縮小化されます。

HTML縮小化

☒ HTMLを縮小化する

HTMLの余分な改行や余白を削除することによりソースコードのサイズを減らします。

CSS縮小化

☒ CSSを縮小化する

CSSの余分な改行や余白を削除することによりソースコードのサイズを減らします。

縮小化除外CSSファイルの文字列を入力

縮小化しないCSSファイルのパス、もしくはパスの一部を改行で区切って入力してください。

JavaScript縮小化

☒ JavaScriptを縮小化する

JavaScript (jQuery) の余分な改行や余白を削除することによりソースコードのサイズを減らします。

縮小化除外JavaScriptファイルの文字列を入力

縮小化しないJavaScriptファイルのパス、もしくはパスの一部を改行で区切って入力してください。

Lazy Load設定

サイト全体の画像をSEOに対応したLazy Load表示する設定です。

Lazy Load

☒ 画像遅延読み込みを有効にする

Googleが推奨するimgタグの遅延読み込み方法でページ表示を高速化します。Lazy Loadは、Intersection Observer APIを利用しています。

変更を保存

- 1.ブラウザキャッシュの有効化（ブラウザにリソースを保存する）
- 2.HTML を縮小化する（HTML のサイズを減らす）
- 3.CSS を縮小化する（CSS のサイズを減らす）
- 4.JavaScript を縮小化する（JavaScript のサイズを減らす）
- 5.Lazy Load を有効にする
- 6.変更を保存